

今回は「被害者とプライバシー」について、一緒に考えていきたいと思えます。

いじめはいつの時代でもあるものですが、「無視する」「かげぐち」「強い口調」「遠回しな言い方」「外す」などの内容が、今はインターネットやSNS（ソーシャルネットワーク）やキングサービスといったツールの多様化によって、顔の見えない仮想空間でやりとりされることがある、ということとです。人づての噂と同じようにツールを使って情報が「拡散」されているのです。どちらにしても、他者の存在や価値、誰かを傷つけ否定することは、人の尊厳やプライバシーにかかわる問題なのです。具体的には、「誤った情報を流すこと」「その人の生活を侵入していくこと」などと考えるでしょう。

いじめ (3)



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

「いじめ」の「ら」

被害者は直接的にしろ、ネット上にしろ、いじめによって尊厳を傷つけられています。言い換えると「いじめられている」という事実」は、「傷つき体験」や「恐怖体験」という「体験」だということとです。それによっていじめに抗えない弱い自分や、抗ってきただけで力尽きてしまい無力で孤独な自分を感じてしまうのです。このような情けなく、くみあげない自分を認めることは屈辱的なこと、ということとを理解してもらいたいと思えます。

日常的に起こりえるいじめに対して、その解決を急ぐことは重要なこととです。しかし、被害者が「受け止めがたい体験」と、そんな自分に向き合ったうえで打ち明けている」といふことを、打ち明けられる側や対応する側が理解することは、もっと重要なこととです。被害者のプライバシーにかかわる問題を最優先に考えて話をきく、対応するということが、いじめ解決やそのプロセスにおいて大前提なのです。

打ち明けたことによって、あるいはいじめ解決のプロセスにおいて、被害者がさらに傷つくことのないように、プライバシーに配慮しながら、様々な立場の人がチームで適



切に対応していくことが重要なのです。被害者の中には、話を大きくしてほしくない、という思いもあるかもしれません。その思いに寄り添いつつ、一方で対応をしていかなければなりません。この際に大切なのが、プライバシーへの配慮という大前提です。

「被害者がかわいそう」「加害者はひどい」という感情論だけではなく、被害者にも加害者にも寄り添う視点を持ち、どちらの尊厳も大切にしながら、「悪いことは悪い」と毅然とした態度でいじめに向き合っていくことが、私たちに求められていることだと理解していきたいですね。

9月10日から16日までは「自殺予防週間」です。いじめや個人の尊厳、プライバシーについて一人ひとりが考え、身近な人や仲間と話し合うことができるといいですね。

軽井沢の植物と方言 6

ツリフネソウ(釣船草)
町内の森林やその周辺等に生える一年草です。9月頃、帆かけ船をつりさげたような形をした紅色の花をつけます。

方言
① アブラバナ
② スイバナ

由来
① アブラバナの由来は不明です。本植物と同じ科のキツリフネもアブラバナといわれます。
② スイバナは、吸い花の意味で、花の蜜を吸うことに由来しています。この他、シソ科ウツボグサ、ツリフネソウ科キツリフネ、スイカズラ科ニシキウツギ等もスイバナといわれることがあります。

【参考文献】
佐藤邦雄(1978)
信州佐久の植物方言

【問い合わせ】
植物園 電話 48-3337

吸い花 ツリフネソウ

『子育て』を応援してください

入園希望者が多いため、引き続き臨時職員を募集しています。
詳しくは、問い合わせてください。

【申し込み・問い合わせ】
こども教育課 児童係 電話 45-8672

職種	保育士
資格	18歳以上で65歳以下の保育士資格を有する方
募集人員	若干名
募集期限	随時
勤務	7時30分～19時 シフト制
休日	週休2日(休日出勤あり) 年末年始
給与	日額 8,050円
待遇	通勤費支給(規定有) 社会保険加入